



アイランドシティで野鳥公園づくりが始まりました！

野鳥公園ラウンジカフェ ニュース

野鳥公園ラウンジカフェとは

多くの渡り鳥が飛来するなど豊かな自然環境を有する博多湾、その東に位置するアイランドシティに、約 12 種の野鳥公園の整備を予定しています。野鳥公園ラウンジカフェは、住民や学生など市民をはじめ、専門家、事業者、NPO、行政など多様な主体が野鳥公園の整備や活用、運営に向けて語り合う場です。野鳥公園が整備されるまで継続して実施する予定です。



「予定地視察」報告 2013年5月25日(土)10:00～11:30

公園予定地のスケールや、周囲の環境との関係性を感じてもらうために、ラウンジカフェの開催前に予定地を約一時間視察しました。野鳥公園の概要を説明した後に、公園予定地のスケールや周囲との環境の関係性を感じてもらうために、まずは現場に立っていただきました。



この真新しい道路の先に、野鳥公園の計画予定地が広がっています。



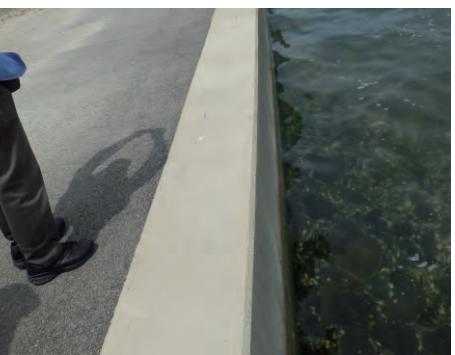
護岸上の管理用道路（幅3m）。「ちょっと味気ない」という声も。



載荷盛土の最長部からは、博多湾が一望できました。



管理用道路からみた和白干潟方面の様子。上空を飛び交う野鳥も見られました。



野鳥公園の範囲は、写真のような垂直護岸になっていました。



組み立ててみる？

あなたの野鳥公園

第5回 野鳥公園ラウンジカフェ

「レゴ®シリアスプレイを活用した野鳥公園コンセプトづくり」

日時 2013年6月16日(日) 12:30～18:00 開場 12:00 (定員40名:先着順)

場所 天神クリスタルビル Aホール：福岡市中央区天神4-6-7

プログラム これまでの野鳥公園ラウンジカフェからも、コンセプトとなるキーワードが既に誕生していますが、今回はブロックを活用してさらなる斬新なアイディアを共有し、積み上げていきます。

講師に株式会社ロバート・ラスマセン・アンド・アソシエイツ代表取締役社長の蓮沼氏をお招きし、参加者どうしが自ら創った三次元モデルを通じてのグループ討議、価値観の共有を図り、野鳥公園コンセプトのヒントを得るとともに、各自の行動のコミットメントを得る場にしていきます。

●参加費：無料

申し込み締め切りは6月13日(木)です

●主 催：福岡市環境局

◆参加を希望される方は、電話、FAX、メールのいずれかで、氏名、住所、連絡先（電話番号もしくはメールアドレス）を添えてお申し込みください。グループやご家族で参加される方は、全員の人数をお伝えください。

講師の紹介・・・蓮沼 孝 氏（株）ロバート・ラスマセン・アンド・アソシエイツ 代表取締役社長



レゴ®シリアスプレイ公認ファシリテーターであり、NPO法人九州・アジア経営塾のプログラム・ディレクターを歴任。国内の通信システム会社、リテール事業会社、商社、シンクタンク、外資系エンジニアリング会社等へレゴ®シリアスプレイを活用した課題解決プログラムを提供。また、大学、大学院等での公開セミナーを行い、視点を広げ、対話能力の向上に寄与している。著書「成功するキャリアデザイン」（日本経済新聞、堀義人らと共に）

お申し込み先／お問い合わせ先 福岡市役所 環境局 環境調整課 野鳥公園整備担当 【担当：名川】

TEL 092-733-5389

FAX 092-733-5592

E-Mail nagawa.m02@city.fukuoka.lg.jp

第4回ラウンジカフェ
第4回内容を踏まえたプラン修正案の検討（予定）

8月 第6回ラウンジカフェ

10月 基本計画案の提示

11月 第7回ラウンジカフェ

1月 第8回ラウンジカフェ

3月 第9回ラウンジカフェ

第4回野鳥公園ラウンジカフェの振り返り

第4回野鳥公園ラウンジカフェは、野鳥公園の予定地視察を行ったあと、アイランドシティ中央公園内のぐりんぐりんにて始まりました。

今日のテーマ

計画のための条件整理
「野鳥公園に求められるもの」

です！

ファシリテーターの
田坂さん



プログラム
12:30 あいさつ、本日のプログラム説明

12:45～ 予定地見学の感想

13:00～ ワールドカフェ
→野鳥公園で誰と何をしたいかを話し合います。

14:00～ プラン案の説明とたたき
→32のコンセプトから描いたプラン案を説明し、
さらなるアイデアを描きこみます。

14:45～ ワールドカフェ
→プラン案をみた感想や意見を話し合います。

15:00 終了

現地をみて、ホオジロやコアジサシ、カルガモなど、いろいろな生き物がいることがわかった。また人工の海岸だが、ハマユリが見られたり、海岸に流れ着いた種が芽生えていたり、いろいろな植物や樹木が育っているということを発見できた。やはり自然の力はすごい。



田村さん
(日本野鳥の会)

本日のラウンジカフェに向けて、専門家の方々
からも一言ずつコメントをいただきました！



柴田先生
(福岡大学工学部)

野鳥公園に「本当に野鳥がきてくれるのかな？」
ということ、公園をつくる専門家の視点でいう
と、①まずは公園が十分な広さなのか、②生物多
様性の面から適しているか、③人がどこまで入って
よしとするか、という3点を基本計画でしっかり書
いておくことが大事。今日はその3点について参
加者のみなさんから意見が出ると良いと思います。



甲斐田さん
(有限会社コンパス)

野鳥公園として必要な機能はあると思うが、それを
みんなが利用できるようなものにしていくことが大切。
テーマとしては「自然との共生」であったり、「野鳥
を大切にする」というものになると思うが、我々は全
国の野鳥公園のプロトタイプとなることを目指してい
るのではない。「新しい福岡のスタイル」として大切
につくりあげていかないなければならないと思う。

プラン案のたたき



過去に議論された野鳥公園基本構想のプランを下
敷きに、ラウンジカフェで整理された「野鳥公園
32のコンセプト」を参考にして、床に広げた巨大
な「プラン案」を見てもらいました。
このプラン案に、参加者のみなさんが現地で掴んだ
感覚をふまえ、大判の平面図や断面図にさらにア
イデアを描きこみました。



図面の上に立って意見を書き込みます



断面イメージを見ながら議論する

■開催日時：2013年5月25日（土）12:30～15:00 ■会場：IC中央公園ぐりんぐりん ■参加者：44名

プラン案へのご意見

前回は「大きな干潟をつくろう」という声が多く出ましたが、予定地視察を終えて、本当に干潟が必要なのか、ここに干潟をつくる意味はなんだろう？という議論に展開してきました。実際に図面に描きこむことで、周辺環境との関係性や管理施設の形状なども話しやすくなっていました。



ワールドカフェ

●環境教育について

- ・子どもと遊ぶ
- ・子どもを観察できる施設
- ・体験型の遊び（散策、クラフト）
- ・自然教育
- ・子どもを対象、子ども病院もできる
- ・子どもの体力づくり
- ・（環境教育をねたに）口から又口へ続く、口伝えのある場所⇒学校、学年単位で大勢来ても対応できる。
- ・環境教育⇒変化（遷移など）を見せる工夫
- ・子ども達の環境学習
- ・観鳥ができるスペース
- ・ふれあい体験
- ・考えるより感じる
- ・楽しむこと（「癒し」も）
きららの例（カツブリのヒナ観察など種によって人に近いものを）
- ・ネイチャーガイド
- ・知ることが大事

●周辺環境との関係からみた野鳥公園の役割について

- ・ほしいものが多すぎる、何を大事にするか
- ・エコパークゾーン全体でも考えたらいいなものもある。ただし、今他にあるものが多くなることもあるので、エコパークゾーン全体の将来像を考える必要がある。
- ・いろいろのものを減らして付加価値のある公園になる？
- ・エコパークゾーンを考える。その中で野鳥公園の役割を。
- ・12haを核とする一帯の環境
- ・クロツラヘラサギと人の距離を考えよう。全体の中の役割分担の議論が必要。
- ・博多湾の中で考える
- ・箱庭的に詰め込んで各ゾーンが活かせない
- ・環境保護拠点

「この野鳥公園で誰と何をしたい？」

ワールドカフェ方式で意見交換を行い、たくさんのコメントがカフェテーブルの上に並びました。今回は、その中でもみなさんが特に大事だと考えたもの（イエローマーク）をご紹介します。

●自然との共生について

- ・再生する力
- ・ベースは本物の自然
- ・自然に根付いていく
- ・自然の力すごい
- ・鳥が運んできた種から育てた林（ネムノキ、アキグミ、アカメガシワ、クスノキ）⇒これを保存すればいい。
- ・水のデータがほしい⇒専門家が調べて教えてほしい
- ・完成図ではなく自然に任せてもどうか⇒安定するか？
- ・生態系として考える→命の数を増やす；福岡市の命ゆりかご
- ・生物多様性

●野鳥の保護、野鳥との共生について

- ・人と鳥の共生をどうはかるか
- ・ICにどんな鳥が来ていたのか？
- ・鳥のくる環境をつくる
⇒ひとがつくりすぎない
・鳥の環境を考えると、人とは両立しない
→観察センターのようなもので学び
- ・ターゲットの鳥を考えないといけない（クロツラ、シギ、チドリ、カモ）
- ・広さは「12ha」鳥が怖がらない距離（非干渉距離）をとれるか。
16haは欲しい。⇒バリアの工夫が必要
- ・冬は北風強そう（鳥は風・雨に弱い）⇒高木で防ぐ

●野鳥公園のコンセプトについて

- ・引き算も大切だけ夢も残したい。
- ・ミニディズニーランド、シー
- ・一生遊べる
- ・公園そのもののを育てる
- ・成長する公園→写真で記録